

##見出し

第113回定例会を開催

新商品の開発に全力を

ベストウールクラブ

##本文

1985年(昭和60年)の結成以来、羊毛(ウール)ふとんの高いクオリティーを追求し続けている、ベストウールクラブ(略称=BWC、野村利泰会長・正会員7社、賛助会員3社)は、2月9日、東京・中央区八重洲の日本ふとん製造協同組合会議室で、「第113回定例会」を開催しました。

2012年最初の定例会では、今年度の事業計画について検討しました。

1つ目は、オーストラリアン・ウール・イノベーション(略称=AWI)との取組みについて、①豪州羊毛(オーストラリアン・ウール)を使った新商品開発の推進②BWCとAWIと合同で、羊毛(ウール)の臭いの基準作成に向けて研究を進める——ことで会員の合意を得ました。次回4月12日の「第114回定例会」で、AWIともミーティングを持ちたいと考えています。

2つ目は、BWCのホームページの活用について、すでに自社(会員)HPにて物販を行っているアサギ様、丸三綿業様のHPに、BWCのHPよりリンクを貼り、消費者各位への利便性を図ります。

最大の懸案事項、BWC会員の増強については、メーカーに限らず、海外シッパーや洗浄工場などにも幅広く呼び掛けていきます。しかし、BWC会則の“1丁目1番地”とも言えます「スチームドライ加工設備」の保有条件については堅持していきます。

また、今回は、会則の変更についても討議しました。今回「スチームドライ加工設備」の稼働を止める大東紡寝装様について、“救済措置的”な会則の変更を行うことで会員の合意を得ました。

なお、賛助会員についての会則を、従来の「羊毛(ウール)に関わる商社」から「ふとん原料を取扱う商社」と変更することについても承認を得ました。

このほかの議題として、消費者各位に安全・安心な羊毛(ウール)ふとんをお届けするために、海外の羊毛原料の現状を視察する研修旅行(フランス)の実施(2012年6月予定)が決まりました。

BWCでは、「今回の海外研修により、羊毛(ウール)に関するホットな情報を発信できると思いますので、期待してください」と語っています。